

式辞

吹く風の中にまだ少しの冷たさを感じます。降り注ぐ陽の光は暖かく、確実に春を告げています。

ここに第77期生の卒業証書授与式を開催できることを心から嬉しく思います。

令和6年のお正月に能登半島で地震が発生し津波が町を襲い、たくさんの方が亡くなりました。お悔やみ申し上げます。また、今も続く避難生活を続けておられる方もいらっしゃいます。心よりお見舞い申し上げます。

何気ない日々の日常が本当にありがたく感じるところです。

さて、77期生のみなさん。久米田中学校での生活はいかがだったでしょうか。

感染症対策で省力化された入学式から始まったと聞いています。1年生の時は、様々な活動に規制が入り、なかなか中学生活になじみにくい時間が長かったと思います。

2年生の体育大会で初めて全校生徒合同の取り組みが行われました。そして、本年度の体育大会では、久米田中学校の伝統の一つである「南中ソーラン」を見事復活させてくれました。

これから進んでいく道には、たくさんの困難が待ち受けています。久米田中学校で経験し培った力で、ちょうど感染症を克服し、南中ソーランを復活させたように、その困難を乗り越えていってください。

参列いただきました保護者の皆様。3年間ご協力いただきました。本当にありがとうございます。

また、PTA 会長の金沢様はじめ学校に携わっていただいた地域の方々に、高いところからではありますが感謝申し上げます。ありがとうございました。

77期生のみなさん。いよいよ久米田中学校とさよならする時がやって来ました。

みなさんは、「生きる力」満載です。ランドセルを背負うところから始まった義務教育期間がまもなく終わりをつげ、いよいよ大人の階段の前に立ちます。

久米田中学校の卒業生としての誇りと自信をもって、いつも進取的に突き進んでいってください。

77期生の篤実な活躍を期待して、私の式辞とします。

令和6年3月13日
岸和田市立久米田中学校
校長 田中 裕雄